

響生 — 生命の音、時空を超えて



石島正博 Masahiro ISHIJIMA

1960年石巻生まれ。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)、桐朋学園大学音楽学部作曲専攻卒業後、同研究科修了。在学中、作曲を三善晃に師事、八村義夫に私淑した。また、ピアノを金澤希伊子、指揮を尾高忠明、打楽器を小林美隆、チェロを青木十良の各氏に師事した。79年武満徹主宰MUSIC TODAY国際作曲コンクール・ファイナリスト、80年日本音楽コンクール(管弦楽部門)3位、81年第6回日本交響楽振興財団「日本のオーケストラ」入選、83年サントリー地域文化賞(映画「潮音」)、84年第10回民音現代音楽祭委嘱、91年朝日作曲賞、97年文化庁芸術祭大賞(バレエ・シャンブルウエストとの共同制作による「天上の詩」)、08年第44回ダルクムシュタット夏期セミナー委嘱、11年パイロイトで開催された「リスト生誕200年祭」に於いて、ピアノのための《レクイエム》がピアニスト韓伽倻によって再演された。17歳の時に作曲した《フルートとピアノのためのソナタ》はピエール・ランパルにより、日本公演にて演奏された。最新作は、本年11月9日に世界初演が予定されている、フィンランド、クオピオシンフォニーオーケストラ委嘱による《ティンパニー・コンチェルト》
現在、桐朋学園大学院大学教授、桐朋オーケストラアカデミー運営委員。

[主要作品]

《フルートとピアノのためのソナタ》(77)、《ODE》ヴァイオリンとオーケストラのために(84)、オペラ「みるなの座敷」(96)、《女歌》18声の女声のために(06)、《艶夏》三味線とクラヴサンのために(02)、《WOVEN》打楽器とピアノのために(08)、《GREEN》オーケストラのために(09)、《REQUIEM》ピアノソロのために(11)、《孤歌》ヴァイオリン・ソロのために(11)、《楽園歌》打楽器アンサンブルのために(11)、《金色の手帖》24のピアノ曲集(12)、弦楽四重奏曲第1番(13)、《3つのマドリガル》8声のための(14)、《アリア》ヴァイオリンとピアノのために(16)他



国枝春恵 Harue KUNIEDA

東京生まれ。4歳より桐朋学園「子供のための音楽教室」において、ピアノとソルフェージュを習い始める。1981年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、1983年同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。作曲を池内友次郎、野田暉行、宍戸睦郎、オリヴァー・ナッセン各氏に師事。ピアノを有賀和子、鷹取淑子各氏に師事。1982年第33回ヴィオッティ国際音楽コンクール作曲部門特別賞。作品は、ISCM-ACL香港大会、オーストラリア大会、イスラエル大会、アジア音楽祭仙台、タングルウッド現代音楽祭等で演奏されている。ソプラノとハーブのための《セレナーデ》は、2000年ISCM「世界の音楽の日々」ルクセンブルク大会に入選。2003年文化庁特別派遣在外研修員。2005年N響ミュージック・トゥモロー委嘱作品《地上の平和》は、2009年ISCM「世界の音楽の日々」スウェーデン大会に入選。2010年アンサンブルMD7委嘱作品《レシテーション III》は、スロヴェニア、ウニクム音楽祭、イタリア、トリエステ・プリマ音楽祭で初演された。2011年、2012年日本音楽コンクール作曲部門審査員。現在、日本現代音楽協会、21世紀音楽の会各会員、熊本大学教授。
<http://www.harue-kunieda.com>

[主要作品]

《セラフィム》ヴァイオリンとオーケストラのための(1997、1999)音楽之友社刊、カメラータ・トウキョウCD《レヴェレーション》オーケストラのための(2004)《地上の平和》ソプラノ、ハーブ、オーケストラのための(2005)音楽之友社刊、《じゅわんさまの島》混声合唱とオルガンのための(2007)音楽之友社刊、《フィールド III》室内オーケストラのための(1990)ダ・ヴィンチ出版社刊等。



撮影/スタッフ・テス

鈴木理恵子 Rieko SUZUKI

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業および同大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了。作曲を尾高惇忠氏に師事。ピアノを竹島悠紀子、西川秀人両氏らに、ピアノ伴奏法をマインハルト・プリント、コンラート・リヒター両氏らに師事。室内楽曲、邦楽曲、歌曲、合唱曲、オーケストラ曲など意欲的に作曲活動を行なう。西洋楽器と邦楽器(和楽器)の競演にも興味を持ち新たな可能性を追求している。また、現代音楽は難しいとの固定観念があるお客様やあまりコンサートに足を運ばれないお客様にもおもしろいと感じていただける作曲も心がけている。現在、大人のためのピアノ講座指導講師、混声合唱団海、混声合唱団もぐら合唱指導者およびピアニスト。(株)ユニマットライフ勤務。(一社)日本作曲家協議会会員。(一社)全日本ピアノ指導者協会指導会員。

[主要作品]

オーケストラのためのトワイライト・ムーン(1996)、弦楽四重奏のためのリトグラフⅡ(1999)JFCより楽譜出版、クラリネットと弦楽四重奏のためのリトグラフⅢ(2002)、フルート、ファゴットと打楽器のための五角形のブリズムⅡ(2005)、中国古箏、韓国伽倻琴、日本俗箏のための三重大輪の華(2005)、邦楽合奏のための松尾芭蕉の7つの俳句による森羅万象(2005)一部浅草みちびき祭りにて再演(2006)、鼓、尺八とチェロのための真朱(まそほ)(2006)聴衆によるもう一度聴きたい曲に選ばれ再演(2007)、独奏箏のための雪月花(2006)二世宮下秀列氏により委嘱初演、オーボエ、チェロと打楽器のための風彩Ⅲ(2008)、ヴァイオリンとピアノのためのアーモンド・ブラリネ・ムーン(2011)JFCよりCD出版、アルトサクソ、コントラバスと打楽器のための三日月に照らされてⅡ(2014)、12の声による声楽アンサンブルのための2つのたんぼぼ(2013)、混声合唱とピアノのためのもぐらのお稽古(2014)、フルート、チェロと茶道のための一期一会(2016)など好評を博す。



平井正志 Masashi HIRAI

1957年東京生まれ
1980年東京藝術大学音楽学部作曲科卒業
1982年東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程作曲専攻修了
これまでに作曲を松本民之助、松村禎三、池野成の各氏に師事
2003年5月29日に自作の室内楽作品展を開催。
2011年6月11日にフィンランドのヘルシンキにて、「REMINISCENCE」for Chamber orchestraを発表。
2011年11月11日にオーケストラ・プロジェクト2011で「Boundary」for Orchestraを発表。
現在、桐朋学園音楽学部、桐朋学園芸術短期大学非常勤講師(財)ヤマハ音楽振興会 JOC 創作講座講師
日本・ロシア音楽家協会会員
アブサラス会員
<http://masashihirai.com>

[主要作品]

“Boundary” for Orchestra
“Postlude” for Orchestra
“Intermezzo” for Orchestra
“Highland’s Fantasy” for string Orchestra
“REMINISCENCE” for Chamber orchestra
Trio for Oboe, Cello and Piano
Rhapsody for Cello and Piano
“Promenade” for Flute and Piano
“Promenade2” for Violin, Cello and Piano
“Promenade 3” for string orchestra
“Promenade 4” for Clarinet and Piano
木管五重奏曲
Piano sonata
庭の3つの情景(ピアノ・ソロ)
無伴奏フルートの為の三章
二つの譚詩(オーボエ・ソロ)
梢—三つの素描—(ピアノ・ソロ)

東京オペラシティコンサートホール
<http://www.operacity.jp/>
〒163-1403新宿区西新宿3-20-2 03-5353-0788

【電車】京王新線(都営地下鉄新宿線乗り入れ) [初台駅]東口下車 徒歩5分
都営地下鉄大江戸線 [西新宿五丁目駅]A2出口より徒歩約17分
小田急線 [参宮橋駅]より徒歩約14分
【バス】新宿駅西口よりバス約10分(京王バス: 宿41/宿45 [幡ヶ谷不動尊])
渋谷駅南口バスターミナルよりバス約20分
(京王バス: 渋61/渋63/渋64/渋66 [東京オペラシティ] 都営バス: 渋66 [東京オペラシティ南])